

令和4年4月、稲敷市は市全域が過疎地域に指定されました。
そんな稲敷市のこれからを、みんなで考えたいと思います。



稲敷市 持続可能な地域づくり

シンポジウム

令和5年 8月27日(日) 14:00~

江戸崎中央公民館(稲敷市江戸崎甲2148-2)

参加費無料 / 定員:600名

ロゴマーク発表
14:00

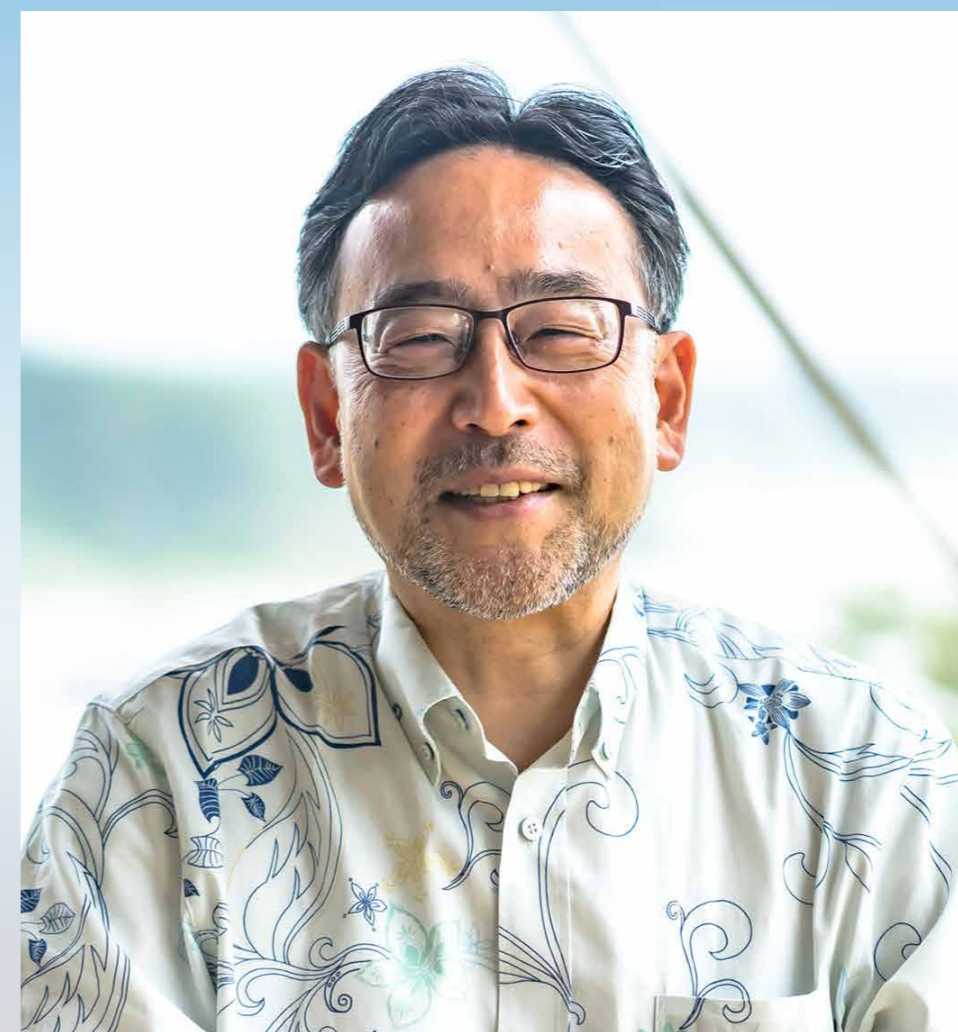
市民参画により導かれた、今後のまちづくりのキャッチフレーズ
“稲敷=ツナガル=まちづくり”のロゴマークを発表します。

基調講演
14:20

「日本一、可能性を秘めた過疎地域」 ～稲敷市のこれから～

藻谷 浩介 氏

山口県周南市(旧徳山市)出身(59歳)
株式会社日本総合研究所 主席研究員
株式会社日本政策投資銀行 地域調査部 特任顧問(非常勤)
平成合併前の全3,200市町村、海外119ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興、コロナ対応などに関し研究・著作・講演を行う。2012年より現職。著書にデフレの正体、里山資本主義(共にKADOKAWA)、世界まちかど地政学Next(文芸春秋)など。近著に日本の進む道～成長とは何だったのか(毎日新聞出版、養老猛司との対談)。



パネル
ディスカッション
15:30

パネリストとして、稲敷市内で活動している市民や団体、企業などから、
4者程度参加いただく予定です。

交流会
17:00

藻谷氏やパネリストと、参加いただいた方々が交流できる
お時間を設けます。

主催



問い合わせ先

稲敷市 企画財政課
〒300-0595 茨城県稲敷市犬塚1570番地1
TEL 029-892-2000

www.city.inashiki.lg.jp



ACCESS

